

## (5) 調査の沿革

昭和28年 (1953年)	「製材統計調査 (指定統計調査)」として調査実施
29年 (1954年)	製材以外を「木材統計調査 (承認統計調査)」として開始
平成12年 (2000年)	「製材統計調査」の基礎調査を調査員調査化及び標本工場調査を郵送調査化
13年 (2001年)	製材統計調査基礎調査を標本調査化
17年 (2005年)	○調査体系の整理
[統計審議会]	○調査範囲、調査方法の変更
	○調査項目の追加・削除
	追加：従業者数の男女別 等
	削除：製材品の出荷先出荷量を都道府県別から自 県・他県に縮減
	木材チップの出荷先 (都道府県) 別出荷量 の削除 等
	○用語の統一
	○公表日の早期化
19年 (2007年)	オンライン調査を導入

5

## 2 木材の加工・流通の構造



### <調査対象>

#### 1 基礎調査 (年次調査)

製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場 (図中の①。以下「製材工場」という。)、木材チップ工場 (図中の②) 及び単板又は合板を生産している事業所 (図中の③。以下「合単板工場」という。)

#### 2 製材月別調査 (毎月調査)

製材工場 (図中の①)

#### 3 合単板月別調査 (毎月調査)

合単板工場 (図中の③)

※ 木材価格統計調査及び木材流通構造統計調査 (いずれも一般統計) における調査対象は、図中の①～④。

※山から生産される丸太のことを「原木」または「素材」という。

(資料：林野庁 森林・林業・木材産業の現状と課題)

6